

K小 T先生のあたりまえ

その① 「 試しで想像を広げる 」

どんな題材でも、描き方・作り方を試しに行い、手順を覚えるとともに、試した技法でどんな絵を描こうか想像を広げる手立てにしている。

3年生の「にじんで広がるものがたり」では、白いクレヨンで好きな形を描き、水をたっぷり塗って絵の具を垂らしたときににじみ具合を試していく中で、子どもたちは大きな画用紙にどんな形を描いてどんな色でにじませてみようか想像を広げることができた。また、試しの段階では、友達と自由に意見交流し、「〇〇さんの色、何色使ったの?」「ぼくもやってみたい。」などと、新たな試しをしてみたり、それまでとは違った色の組み合わせを試したりして、描くことを楽しみながら夢中で作品に向かっていった。



その② 「 さまざまな過程で活用できるICT 」



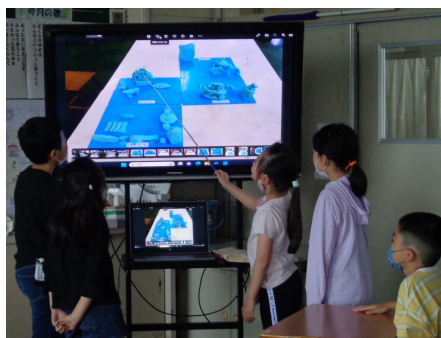
学校周辺の気に入った木の写真を撮る児童

◇4年生の「木々を見つめて」

4年生の理科の学習で学校周辺の木の観察をしているが、その学習で撮った写真をもとに、図工の「木々を見つめて」では自分のお気に入りの木を描いた。

◇「わくわくランドで遊ぼう」の粘土制作

グループでテーマを決めて個々に作った粘土を粘土板でつなげてわくわくランドにした。できた作品を鑑賞するときに、実際に鑑賞した後に全体の場でわくわくランドの魅力を紹介するために電子黒板に写真を映し出して個々の作品の思いを説明し、見る側も集中して見たり質問したりしてわくわくランドに浸ることができた。



自分の作品の思いを語る児童と集中して見る児童